

再建中の「今」ならではの
 首里城を間近でご覧ください。

2019年10月31日の火災で、正殿を含む9つの施設が焼損しました。

現在は、国内外の多くの皆さまからのご支援をいただき、

「見せる復興」をテーマに一歩ずつ着実に復興への歩みを進めています。

復元工事は正殿から着手しており、建築中に雨風や埃から守る「素屋根」が
 解体され、約6年ぶりに首里城正殿が沖縄の青空の下に姿を表しました。

引き続き令和8年秋の完成に向けて、正殿内部や両廊下、

仮設階段棟などの施工を行ってまいります。

ⓘ 案内所

🏠 救護室

🚲 駐輪場

🍴 飲食店

♿ トイレ

🆘 AED
 (自動体外式除細動器)

🚶 エスカレーター

🏪 売店

🍼 授乳室

🚶 貸出センター
 (車イス・杖・ベビーカー)

🚪 エレベーター

📦 コインロッカー

🔄 おむつ交換台

🚗 駐車場

🚬 喫煙所

無料区域

有料区域



④ 龍樋 (りゅうひ)



龍の口から水が湧き出ていることが
 名の由来。瑞泉門の手前にあり、
 王宮や賓客の大切な飲料水でした。

⑤ 広福門 (こうふくもん)



扁額の「広福」とは「福を行き渡らす」
 という意味。東側は戸籍を管理する
 「大寺座」、西側は寺や神社を管理する
 「寺社座」がありました。

⑥ 奉神門 (ほうしんもん)



3つの入口のうち、中央の門は国王
 など限られた身分の高い人だけが
 通れました。開門を告げる朝の儀式
 「御開門」を見ることが出来ます。

⑦ 首里城復興展示室



獅子瓦など火災後の残存物の展示
 や、首里城復興へのあゆみを映像
 で紹介しています。展示内容は工事
 の進捗によって変わります。

⑧ 世誇殿 (よほこりでん)



国王が亡くなると、次期国王の即位
 の礼が行われた場所。現在は大型モ
 ニターで琉球王国の歴史と首里城正
 殿遺構の魅力などを紹介しています。

⑨ 東(あがり)のアザナ



城郭の東側に築かれた物見台で、
 首里城公園一帯や那覇の街並みを
 一望できます。東は日が昇る場所
 のため方言で「アガリ」と言います。

① 守礼門 (しゅれいもん)



扁額の「守禮之邦」は「琉球は礼節を重
 んずる国である」という意味。沖縄戦
 で破壊され、1958年に復元されました。

② 園比屋武御嶽石門 (そのひやうたきいしもん)



国王が外出する時の安全をこの石門の
 前で祈願しました。沖縄戦で一部破壊
 され、1957年に復元。2000年12
 月に世界遺産に登録されました。

③ 第32軍司令部壕



第2次世界大戦中、アメリカ軍の沖縄
 上陸に備え、旧日本軍が首里城の地下
 に造った司令部壕で、現在も残る
 貴重な戦争遺跡です。